

規模別・業種別 PER・PBR 計算要領

1. 本表の集計対象会社は、各月末現在において株価指数の算出対象となっている上場会社である。
ただし、株式移転により新たに上場した持株会社のように、当該法人格に係る過去の財務数値の無い会社については、集計対象から除外している。
なお、2012年12月末までは東証市場第一部及び第二部、2013年1月末から2019年12月末までは東証市場第一部、第二部及びマザーズ、2020年1月から2022年3月末までは、東証市場第一部、第二部、マザーズ及びJASDAQ、2022年4月末以降はプライム、スタンダード、グロースを対象としている。
2. 連結ベースのデータについては、集計対象会社のうち連結財務諸表を作成している会社については連結の数値、作成していない会社については単体の数値を集計している。単体ベースのデータについては、単体の数値を公表している会社を集計対象としている。
3. 計算に使用している財務数値は、各会社の決算期末の実績値である。
財務数値の更新時期は、各会社の決算期の3カ月後の月末（例えば3月決算であれば6月末）である。
4. 業種別集計における対象業種
 - 製造業（16業種）：「食料品」、「繊維製品」、「パルプ・紙」、「化学」、「医薬品」、「石油・石炭製品」、「ゴム製品」、「ガラス・土石製品」、「鉄鋼」、「非鉄金属」、「金属製品」、「機械」、「電気機器」、「輸送用機器」、「精密機器」、「その他製品」
 - 非製造業（13業種）：「水産・農林業」、「鉱業」、「建設業」、「電気・ガス業」、「陸運業」、「海運業」、「空運業」、「倉庫・運輸関連業」、「情報・通信業」、「卸売業」、「小売業」、「不動産業」、「サービス業」
 - 全産業（29業種）：製造業（16業種）＋非製造業（13業種）
 - 金融業を含む全社（33業種）：製造業（16業種）＋非製造業（13業種）＋金融業（4業種）（「銀行業」、「証券、商品先物取引業」、「保険業」、「その他金融業」）

5. 本表に掲載しているデータの計算式は以下のとおりである。

(1) 単純

- ・ $1 \text{ 株当たり当期純利益} = 1 \text{ 株当たり当期純利益合計} / \text{銘柄数}$
- ・ $1 \text{ 株当たり純資産} = 1 \text{ 株当たり純資産合計} / \text{銘柄数}$
- ・ $\text{PER} = \text{株価合計} / 1 \text{ 株当たり当期純利益合計}$
- ・ $\text{PBR} = \text{株価合計} / 1 \text{ 株当たり純資産合計}$

なお、集計対象会社のデータは、2018年9月までは、1単元1,000株を前提としてすべて単元換算（注1）して集計していたが、2018年10月1日にすべての上場銘柄の売買単位が100株に統一されたことに伴い、2018年10月以降は1単元100株を前提とした集計方法に変更している。これにより、2018年10月以降と2018年9月以前を比較すると、1株当たり当期純利益、1株当たり純資産及び単純株価平均において、数値の水準が異なっている。

- （注）
1. 単元換算とは、1単元の株式数が異なる銘柄を対象に集計する際、同じ条件で集計するため、各銘柄の数値に「各銘柄の1単元株式数/前提となる1単元株式数」を乗じることをいう。
 2. 公募増資、株式分割、転換社債型新株予約権付社債の株式転換等により期中に株式数の変動があった場合には、その都度当該銘柄の「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」の数値を修正している。
 3. 2016年6月末より、連結については「当期純利益」から「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示を変更している。
 4. IFRS採用会社については、「親会社株主に帰属する当期純利益」は「親会社の所有者に帰属する当期利益」、「純資産」は「資本合計」をそれぞれ使用している。
 5. 変則決算の銘柄は、当期純利益（1株当たり当期純利益含む）は年率換算した値を使用している。

(2) 加重

- ・ $\text{PER} = \text{時価総額合計} / \text{当期純利益合計}$
- ・ $\text{PBR} = \text{時価総額合計} / \text{純資産合計}$

2024年2月1日更新